

高萩市子ども読書活動推進計画（令和元～5年度）概要

1 目的

子どもが読書の楽しさに気づき、継続的に読書に親しむことができるよう、本計画を策定し、子どもの豊かな心の育成を推進する。

2 基本方針

普及啓発活動の推進	子どもの身近にいる大人が読書活動に理解と関心を持ち、社会全体で読書活動を推進する機運を高めるよう、啓発や広報に努める
読書環境の整備	子どもが読書の楽しさを知り、読書に親しむために、発達段階に応じて環境の整備・充実に努める
読書に親しむ機会の充実	読書の習慣を身につけるよう、家庭・地域・学校等が連携・協力しながら読書機会の提供・充実に努める

3 具体的な方策（主なもの）

家庭における取り組み

- ◆母子保健事業での保護者への普及啓発
乳幼児健診の際におすすめ絵本のチラシやパンフレットを配布
- ◆子育て支援施設等における保護者への普及啓発
幼稚園等で保護者に絵本の読み聞かせによる触れ合いの大切さを伝える
- ◆ブックスタート事業（絵本の貸出）
ブックスタートコーナーを図書館に設置
- ◆ブックスタート事業（絵本の配布）
生後4か月までの乳児訪問時に絵本を配布

地域における取り組み

- ◆交流の場としての図書館の提供
乳幼児連れの利用者が気軽に立ち寄れる交流の場として「ファミリータイム」を設定
- ◆図書館で蔵書数が少ない分野の図書の充実
小中学生の関心を喚起する図書を配置
- ◆萩っ子つどいの広場での読み聞かせの実施
未就学児と保護者を対象にボランティアによる読み聞かせを実施
- ◆放課後児童クラブへの本の配置
利用児童が本に親しめる環境を整備

学校等における取り組み

- ◆読書環境の整備
各教室へ絵本や図鑑を配置
- ◆読み聞かせ時間の拡大
幼稚園・保育園で読み聞かせを実施
- ◆読書意欲を高める取り組みの実施
児童生徒が相互に図書を紹介する活動を実施
- ◆読書に親しむ機会の充実
地域ボランティアによる読み聞かせの継続

4 数値目標

	平成29年度		令和5年度	
	読書が好きな子どもの割合	小学生 83.8%	中学生 77.3%	小学生 85.3%
1か月に読んだ本が0冊の子どもの割合	小学生 6.7%	中学生 12.3%	小学生 4.7%	中学生 10.3%
図書館での児童書貸出冊数	41,579冊		43,658冊	

高萩市子ども読書活動推進計画

令和2年2月
高萩市教育委員会

目 次

第 1 章	計画の概要	
1	計画策定の趣旨	1
2	計画期間	1
第 2 章	計画の基本的な考え方	2
1	目的	2
2	基本方針	2
第 3 章	具体的な方策	3
1	家庭における取組	3
2	地域における取組	5
	(1) 図書館	5
	(2) 公民館・子育て支援施設等	7
3	学校等における取組	9
	(1) 幼稚園・保育園	9
	(2) 学校	11
第 4 章	推進体制と進行管理	13
1	数値目標	13
2	推進体制	13
3	進行管理	14
〈参考資料〉		
◆	子どもの読書活動の推進に関する法律	15
◆	学校図書館法	17
◆	高萩市子ども読書活動推進計画アンケート調査結果	19
◆	高萩市子ども読書活動推進計画策定経過概要	27

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨

今日、人口減少と超高齢化による社会構造の変化や、インターネット、スマートフォンの普及等に見られる情報化の進展などにより、私たちの生活環境は大きく変化しています。そのようななかで、読書の時間が減少傾向にあり、このことは、子ども達の心身の発達にも影響を与えているといわれています。

子どもにとっての読書活動は、言葉を学び、表現力を身につけるうえで欠くことのできないものであり、人生を豊かに生きるための基礎を形成するものです。子どもが読書の楽しさに気づき、読書に親しむことができるよう、「高萩市子ども読書活動推進計画」を策定し、子どもの豊かな心の育成を推進します。

2 計画期間

令和元年度から令和5年度までの5年間とします。

ただし、社会情勢等の変化を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行います。

第2章 計画の基本的な考え方

1 目的

子どもが読書の楽しさに気づき、継続的に読書に親しむことができるよう、本計画を策定し、子どもの豊かな心の育成を推進していきます。

2 基本方針

本計画の基本的な方針は次のとおりとします。

【基本方針1】 普及啓発活動の推進

子どもが本に親しむ習慣を身につけるためには、子どもにとって最も身近な存在である保護者が、乳幼児期から子どもと一緒に読書を楽しみ、親しむことが有効です。社会全体で読書活動を推進する機運を高めるための啓発や広報に努めます。

【基本方針2】 読書環境の整備

子どもが読書の楽しさに気づき、読書に親しむために、発達段階に応じた本・施設・設備や人的環境の整備・充実に努めます。

【基本方針3】 読書に親しむ機会の充実

子どもが読書の習慣を身につけるよう、家庭・地域・学校等が連携・協力しながら、読書機会の提供・充実に努めます。

第3章 具体的な方策

1 家庭における取組

家庭における読書活動を推進するため、さまざまな機会において普及啓発活動等の取組を行います。

家庭は、子どもが初めて本と出会う場所です。子どもが本を好きになり、読書をするのが習慣になるには、保護者が読書の意義について理解を深め、乳幼児期から本を介して子どもと関わり合いを楽しむことが重要です。

このため家庭では、読み聞かせをしたり、子どもと一緒に本を読んだり、図書館に出向いたりするなど、子どもが読書に親しむきっかけを作ることが大切です。また、家庭で読書を習慣にしたり、読書の感想を話し合ったりするなど、子どもの読書に対する興味や関心を引き出すような働きかけも必要です。

現在の主な取組

普及啓発活動の推進

●母子保健事業での、保護者への普及啓発

健康づくり課では、生後4か月までの乳児訪問の際に、図書館で借りることができる、乳幼児向けの絵本についてのチラシを配付しています。また、幼児健診の際に絵本を通した親子のふれあいに関するパンフレットを配付し、保護者への普及啓発をしています。

●幼稚園・保育園・子育て支援施設等における保護者への普及啓発

保護者会等で、絵本活用の有効性について話し合い、その方法として絵本の読み聞かせによる親子での触れ合いの大切さを伝えています。

さらに図書館では、施設内の掲示用として「図書館行事案内」を配付し、子ども向けイベントの周知に努めています。

読書に親しむ機会の充実

●ブックスタート事業（健康づくり課：絵本の配付）

健康づくり課では、できるだけ早い時期にすべての子どもに「絵本」と出会う機会を作ること、絵本を通して親子が触れ合い、語り合い、絆を深めることを目的に、生後4か月までの乳児訪問で絵本を手渡しています。

また、親子が心を触れ合うひとときを持つ機会として、3歳児健康診査時に、ボランティア団体による読み聞かせや紙芝居・パネルシアターを行っています。

●ブックスタート事業（図書館：絵本の貸出）

図書館では、言葉の習得が始まる前の0歳から4歳児を対象に、3種類の絵本（赤ちゃん向け絵本・知育・英語）をセットにして児童閲覧室に配置しています。

課題及び今後の取組

平成29年10月に実施したアンケートでは、子どもが本好きになるために必要なこととして、「保護者への読み聞かせの啓発をすること」という意見がありました。

絵本の読み聞かせは、生きる知恵と知識を得られるだけでなく、親子のスキンシップになり、心の交流になります。子どもが喜ぶだけでなく、大人もたくさんの気づきや子どもとの関わり方のヒントを得ることができます。そのためにも、乳幼児や保護者を対象にボランティア団体による読み聞かせや紙芝居・パネルシアターを引続き実施して、普及啓発を図っていきます。

平成13年から始まった図書館のブックスタート事業については、絵本の入替えや貸出方法の見直しをして、さらに利用しやすくしていきます。

No.	施策	内容	担当課
1	ブックスタート事業 (絵本の配付)	生後4か月までの乳児訪問時に絵本を手渡して、絵本を通じた親子の触れ合いの重要性を伝えていきます。	健康づくり課
2	ブックスタート事業 (絵本の貸出)	0歳から4歳児を対象にした「ブックスタートコーナー」を設置し、そこから好きな絵本を自由に選べるようにしていきます。	生涯学習課 (図書館)

2 地域における取組

地域の中で中心的な役割を担う図書館や公民館、子育て支援施設等において読書活動を推進する取組を行います。

(1) 図書館

子どもにとっての図書館は、読みたい本を自由に選択でき、読書の楽しさを知ることができる場所です。そこで図書館では、児童閲覧室や小学校高学年・中学生のコーナー、点字・LLブック（やさしくてわかりやすいイラストや写真・記号を多く添えた本）コーナーの設置や、ボランティア団体によるイベントの実施など、発達段階に応じたサービスを提供しています。

さらに、ボランティア団体などが活発に活動していけるよう、会場の提供や広報等の支援に努めています。

現在の主な取組

普及啓発活動の推進

●図書館だより等の配付と市報での紹介

館内では、毎月図書館だより等を配付して図書館の行事案内や季節に応じた図書の紹介をしています。また、掲示用として子育て支援施設・保育園・幼稚園・学校・公民館等に配付しています。

「市報たかはぎ」では、図書館だよりコーナーを設け、新刊案内や特集図書の紹介をしています。

読書環境の整備

●児童閲覧室の設置

乳幼児や児童を対象とした児童閲覧室を設置し、ブックスタートのための図書の配置や、ボランティア団体によるおはなし会などを実施しています。

●茨城県立図書館等との連携

茨城県立図書館や県内の市町村立図書館と連携して、市で所蔵していない図書等の提供や、読書相談に応じています。そうすることで、子どもや子どもに関わる大人の幅広いニーズに応え、より多くの本との出会いの機会を提供しています。

●学校との連携

子どもの読書活動や学習活動をより一層充実させるため、学校との連携・協力を行っています。施設見学・職場体験学習の受入や、団体貸出・学校支援図書パック巡回事業を行って、学校の授業での資料活用を支援しています。

読書に親しむ機会の充実

●おはなし会の開催

図書館では、毎月ボランティア団体による本の読み聞かせや紙芝居・パネルシアターを実施しています。

●子ども向け事業の実施

図書館を身近に感じてもらうため、「図書館まつり」において、お子様図書館員、おりがみ教室などの子ども向けの事業を行っています。

課題及び今後の取組

図書館に必要なサービスとして、「乳幼児がある程度大きな声を出しても、他の利用者が不愉快にならないような乳幼児専用の日を設けてほしい」という意見がありました。

そこで、令和元年度から、乳幼児連れの保護者が気兼ねなく図書館を利用できる「ファミリータイム」を設定しています。今後は、気軽に立ち寄れる交流の場として図書館をご利用いただけるよう周知を図っていきます。

No.	施策	内容	担当課
3	広報の拡大	引続き「図書館だより」を発行しHPやSNS等を利用して図書館の情報発信に努めます。	生涯学習課 (図書館)
4	交流の場としての提供	乳幼児連れの利用者にとっても気軽に立ち寄れる交流の場として図書館を提供していきます。	生涯学習課 (図書館)
5	学校との連携	学校図書館担当教諭と連携して学校の授業での資料活用を支援していきます。	生涯学習課 (図書館)
6	蔵書数が少ない分野の図書の充実	小学生や中学生の関心が低い分野の図書を配置して、興味を持ってもらえるよう関連図書の充実を図ります。	生涯学習課 (図書館)
7	図書館の利用促進	スタンプラリーなどのイベント等を通して図書館をもっと気軽に利用できるようにします。	生涯学習課 (図書館)
8	図書配付施設の見直し	公民館・適応指導教室・児童施設等に、発達段階に応じた図鑑や本を配付します。	生涯学習課 (図書館)

(2) 公民館・子育て支援施設等

地域には、図書館のほか、萩っ子つどいの広場（未就学児をもつ家族がお子さんと一緒に自由に遊び情報交換できる場所）、公民館など、本に触れ、読書に親しむことができる身近な施設があります。これらの施設には、子どもの読書活動を更に深めていく役割が求められています。このため、地域のボランティアと連携・協力し、読み聞かせなどの機会を提供していくことが必要です。

現在の主な取組

普及啓発活動の推進

● 掲示板の充実

公民館の掲示板に図書館からのお知らせコーナーを設け、図書館活動の普及啓発を図っています。

読書環境の整備

● 松岡地区公民館での図書室開放

松岡地区公民館には図書室があり、図書館で定期的に入替え、貸出も行っています。また、ロビーには図鑑等も配置し、気軽に本に親しめる環境を整備しています。

● 放課後児童クラブへの本の配置

共働き家庭など留守宅家庭の小学生が、放課後の生活の場として利用する児童クラブに本を配置しています。

読書に親しむ機会の提供

● 絵本コーナーの設置

中央公民館ロビーに絵本等を配置することにより、誰もが気軽に本を手に取り、楽しんでいただけるようにしています。

● おはなし会の開催

子育て支援施設の「萩っ子つどいの広場」では、毎月ボランティア団体による絵本の読み聞かせや紙芝居・パネルシアターを実施しています。

課題及び今後の取組

公民館は現在、高齢者の利用が多い施設ですので、子どもたちにも親しまれる施設運営が課題です。

そこで、令和元年度から中央公民館ロビーに、子ども向けの図書や図書館行事案内のチラシを配置しています。

今後は、図書館、各学校図書館とも連携し、子どもの好きな本、興味のある本を随時把握し、定期的に本の入替えを行っていきます。

No.	施策	内容	担当課
9	家庭教育学級の実施	幼稚園保護者に対する意識啓発のための研修等を実施していきます。	生涯学習課 (公民館)
10	朗読講座の実施	公民館講座で学んだ受講生の活動の場として、子ども達の前で朗読を行っていきます。	生涯学習課 (公民館)
11	わんぱく広場(放課後子ども教室)における読書時間の設定	各小学校で実施している「わんぱく広場」で、学校図書室や図書館を利用して本読みの時間を取入れていきます。	生涯学習課
12	萩っ子つどいの広場での読み聞かせ	未就園児とその保護者を対象に、ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施していきます。	子育て支援課
13	放課後児童クラブへの本の配置	放課後児童クラブへ本を配置し、利用している小学生が本に親しむ環境を作っていきます。	子育て支援課

3 学校等における取組

学校や幼稚園・保育園において、読書活動を推進する取組を行います。

(1) 幼稚園・保育園

乳幼児期に絵本に親しむことは、子どもの感性を育み、より良い人間形成を図るために重要です。そこで、乳幼児期に読書の楽しさを知ることができるよう、絵本や物語に親しむ活動を積極的に取り入れることが必要です。

また、保護者に対して読み聞かせ等の効果や意義を広く普及することが大切です。

現在の主な取組

普及啓発活動の推進

●絵本等に関する情報の掲示

玄関付近など目につきやすい場所に図書館だよりを掲示しています。

読書環境の整備

●図書コーナーの充実

各教室に絵本コーナーを設置しています。また、家庭でも絵本が楽しめるように貸出しを行うなど、親子・家族等でゆっくりと読書を楽しめる環境を整えています。

幼児クラスでは、発達に応じて選定した絵本や図鑑を設置しています。子どもの求める図書が身近にあり、子ども自らが手に取れるように設置することで、子どもの「自分で見たい、調べてみたい」という意欲を育てています。

読書に親しむ機会の提供

●おはなし会の実施

日々の保育の中でそれぞれの子どもの興味や関心に合わせた絵本を選定し、毎日5分から20分程度おはなし会を行っています。

また、食後などには1対1の紙芝居や絵本の読み聞かせを行っています。学齢によっては、簡単な言葉のやりとりや、大型絵本・紙芝居・ペープサート（紙人形劇）・しかけ絵本等、見て触って興味が向くような取り組みをしています。

●地域との交流

地域のボランティアによる読み聞かせを行っています。

課題及び今後の取組

子どもが本好きになるために必要なこととして「大人が楽しそうに読み聞かせをして、子どもに楽しそうと思わせる雰囲気伝える」という意見がありました。

子どもが絵本や物語などに親しむ読み聞かせ活動を行うために、職員同士で読み聞かせの技術等の情報交換や、図書の専門講師などに研修を依頼するなど、読み聞かせを始めとする絵本等の活用に関する技術を、より一層高めるように努めます。

また、昔から語り継がれている物語や、話題の絵本などを始め、様々なジャンルの視覚教材にも触れられるように努めます。

令和元年度からは、施設内の掲示板に、家族などが参加しやすい図書館行事案内を掲示しておはなし会等の広報に努めます。

No.	施策	内容	担当課
14	職員の絵本等の活用に関する技術の向上	専門講師等による読み聞かせの研修に参加し、絵本への知識を深め、感性を磨く等職員の技術の向上に努めます。	教育総務課 (公立幼稚園)
15	読み聞かせの時間の拡大	保育のなかに読み聞かせの時間を積極的に組み込んでいきます。	子育て支援課 教育総務課 (保育園・幼稚園)
16	観劇	子どもの感性をより豊かにするために劇を観賞する機会を設けます。	生涯学習課

(2) 学校

子どもが生涯にわたって読書に親しみ、読書を楽しむ習慣を形成していく上で、学校は大きな役割を担っています。学校においては、全ての子どもが読書に親しみ、読書の幅を広げていくことができるように適切な支援を行うとともに、その環境を整備することが大切です。そして、子どもの読書の量を増やすことだけでなく、その質を高めることが求められます。

現在の主な取組

普及啓発活動の推進

●「子ども読書の日」等における啓発

「子ども読書の日」や「読書週間」などの機会において、子どもの読書活動に関連した取組を行っています。

読書環境の整備

●学校図書館の充実

図書担当教諭等が中心となり、児童・生徒からのリクエストにも応じ、子ども達が手にとって読みたくなる魅力ある本や、子ども達が進んで読書を楽しめるような学校図書館資料の充実を図っています。

また、新刊案内のコーナーの設置や、季節ごとの壁面装飾に取り組んでいます。

●図書コーナーの充実

各教室に図書コーナーを設置しています。また、家庭でも本が楽しめるように貸出しを行うなど、親子・家族等でゆっくりと読書を楽しめる環境を整えています。

読書に親しむ機会の充実

●読書習慣の形成

茨城県の「みんなにすすめたい 1冊の本推進事業」への積極的な取組により、子どもの読書活動を進めています。

●地域との交流

地域のボランティアによる読み聞かせを行っています。

課題及び今後の取組

子どもが本好きになるために必要なこととして、「読書をする時間と、様々な本に触れられる環境の確保」という意見がありました。

小学生・中学生は、学年が上がるごとに勉強や部活動等に費やす時間が増えてしまうため、読書時間を確保することが難しくなり、学校図書館や図書館を利用しなくなる傾向がみられます。

学校図書館は、子どもの感性を育み、自発的・主体的な学習活動を支援する重要な役割を果たしています。このため、学校図書館においては、引き続き子どものニーズに応じた図書資料の整備・充実に努めます。

また、ボランティア等の活用により読書環境づくりを推進していきます。

No.	施策	内容	担当課
17	読書習慣の形成	茨城県の「みんなにすすめたい1冊の本推進事業」への積極的な取組により読書活動を進めていきます。	学校教育課 (小・中学校)
18	障がいのある児童・生徒へ向けた読書環境の整備	LLブックや点字本等、発達に応じた図書資料の整備を行っていきます。	学校教育課 (小・中学校)
19	読書意欲を高める取組の実施	ポップづくりやブックトーク、ビブリオバトル等、児童生徒が相互に図書を紹介する活動を行っていきます。	学校教育課 (小・中学校)
20	図書館との連携	学校図書館研究部と司書教諭等が図書館職員と意見交換を行いながら、学校の授業での資料活用の充実を行っていきます。	生涯学習課 (図書館)

第4章 推進体制と進行管理

1 数値目標

具体的な目標として次の項目を設定し、実現に努めます。

① 読書が好きな子どもの割合

平成29年度	小学生	83.8%
	中学生	77.3%
令和5年度	小学生	85.3%
	中学生	79.6%

※高萩市読書に関するアンケート調査（平成29年10月実施）

② 1か月に読んだ本が0冊の子どもの割合

平成29年度	小学生	6.7%
	中学生	12.3%
令和5年度	小学生	4.7%
	中学生	10.3%

※高萩市読書に関するアンケート調査（平成29年10月実施）

③ 図書館で児童書の貸出冊数の増加

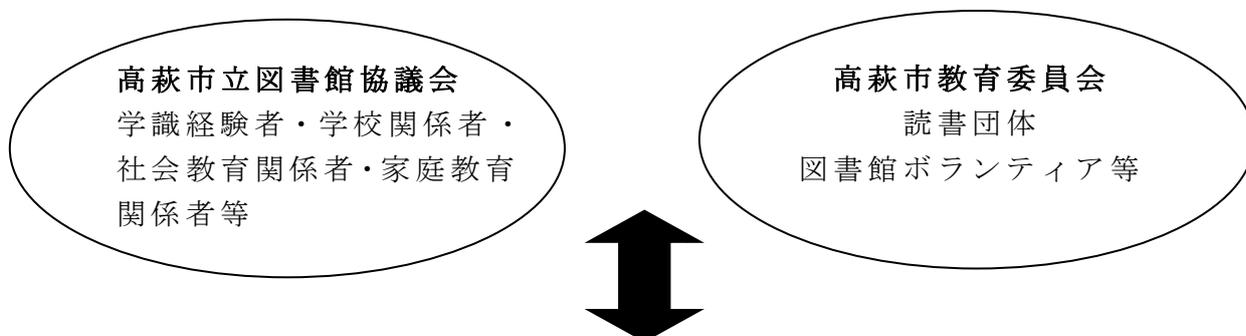
平成29年度	41,579冊
令和5年度	43,658冊

2 推進体制

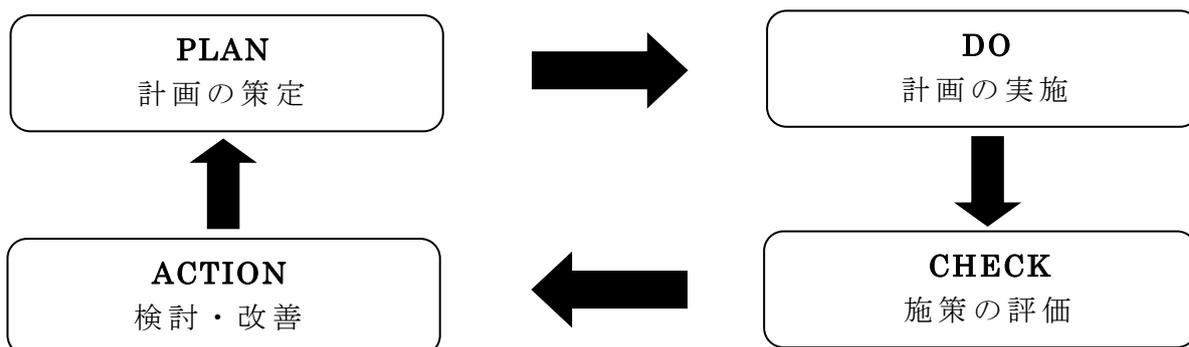
本計画の推進に当たっては、図書館法第14条に規定する図書館の運営に関する図書館長の諮問機関である「高萩市図書館協議会」の意見を聴きながら、高萩市教育委員会を中心に関係各課と連携し、図書館ボランティア等との協力により各施策に取り組みます。

3 進行管理

本計画の推進に当たっては、各施策の進捗状況を把握し、Plan（計画の策定）、Do（施策の実施）、Check（施策の評価）、Action（検討・改善）によるPDCAサイクル手法により、適切な進行管理を行います。



子ども読書活動推進計画 PDCA サイクル



◆ 子どもの読書活動の推進に関する法律

(平成十三年十二月十二日

(法律第百五十四号)

(目的)

第一条 この法律は、子どもの読書活動の推進に関し、基本理念を定め、並びに国及び地方公共団体の責務等を明らかにするとともに、子どもの読書活動の推進に関する必要な事項を定めることにより、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって子どもの健やかな成長に資することを目的とする。

(基本理念)

第二条 子ども（おおむね十八歳以下の者をいう。以下同じ。）の読書活動は、子どもが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けていく上で欠くことのできないものであることにかんがみ、すべての子どもがあらゆる機会とあらゆる場所において自主的に読書活動を行うことができるよう、積極的にそのための環境の整備が推進されなければならない。

(国の責務)

第三条 国は、前条の基本理念（以下「基本理念」という。）にのっとり、子どもの読書活動の推進に関する施策を総合的に策定し、及び実施する責務を有する。

(地方公共団体の責務)

第四条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、国との連携を図りつつ、その地域の実情を踏まえ、子どもの読書活動の推進に関する施策を策定し、及び実施する責務を有する。

(事業者の努力)

第五条 事業者は、その事業活動を行うに当たっては、基本理念にのっとり、子どもの読書活動が推進されるよう、子どもの健やかな成長に資する書籍等の提供に努めるものとする。

(保護者の役割)

第六条 父母その他の保護者は、子どもの読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化に積極的な役割を果たすものとする。

(関係機関等との連携強化)

第七条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策が円滑に実施されるよう、学校、図書館その他の関係機関及び民間団体との連携の強化その他

必要な体制の整備に努めるものとする。

(子ども読書活動推進基本計画)

第八条 政府は、子どもの読書活動の推進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画（以下「子ども読書活動推進基本計画」という。）を策定しなければならない。

- 2 政府は、子ども読書活動推進基本計画を策定したときは、遅滞なく、これを国会に報告するとともに、公表しなければならない。
- 3 前項の規定は、子ども読書活動推進基本計画の変更について準用する。

(都道府県子ども読書活動推進計画等)

第九条 都道府県は、子ども読書活動推進基本計画を基本とするとともに、当該都道府県における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該都道府県における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「都道府県子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。

- 2 市町村は、子ども読書活動推進基本計画（都道府県子ども読書活動推進計画が策定されているときは、子ども読書活動推進基本計画及び都道府県子ども読書活動推進計画）を基本とするとともに、当該市町村における子どもの読書活動の推進の状況等を踏まえ、当該市町村における子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画（以下「市町村子ども読書活動推進計画」という。）を策定するよう努めなければならない。
- 3 都道府県又は市町村は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画を策定したときは、これを公表しなければならない。
- 4 前項の規定は、都道府県子ども読書活動推進計画又は市町村子ども読書活動推進計画の変更について準用する。

(子ども読書の日)

第十条 国民の間に広く子どもの読書活動についての関心と理解を深めるとともに、子どもが積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、子ども読書の日を設ける。

- 2 子ども読書の日は、四月二十三日とする。
- 3 国及び地方公共団体は、子ども読書の日趣旨にふさわしい事業を実施するよう努めなければならない。

(財政上の措置等)

第十一条 国及び地方公共団体は、子どもの読書活動の推進に関する施策を実施するため必要な財政上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

附 則

この法律は、公布の日から施行する。

◆ 学校図書館法

(昭和二十八年法律第百八十五号)

(最終改正：平成二十七年六月二十四日法律第四十六号)

(この法律の目的)

第一条 この法律は、学校図書館が、学校教育において欠くことのできない基礎的な設備であることにかんがみ、その健全な発達を図り、もつて学校教育を充実することを目的とする。

(定義)

第二条 この法律において「学校図書館」とは、小学校（義務教育学校の前期課程及び特別支援学校の小学部を含む。）、中学校（義務教育学校の後期課程、中等教育学校の前期課程及び特別支援学校の中学部を含む。）及び高等学校（中等教育学校の後期課程及び特別支援学校の高等部を含む。）（以下「学校」という。）において、図書、視覚聴覚教育の資料その他学校教育に必要な資料（以下「図書館資料」という。）を収集し、整理し、及び保存し、これを児童又は生徒及び教員の利用に供することによって、学校の教育課程の展開に寄与するとともに、児童又は生徒の健全な教養を育成することを目的として設けられる学校の設備をいう。

(設置義務)

第三条 学校には、学校図書館を設けなければならない。

(学校図書館の運営)

第四条 学校は、おおむね左の各号に掲げるような方法によって、学校図書館を児童又は生徒及び教員の利用に供するものとする。

- 一 図書館資料を収集し、児童又は生徒及び教員の利用に供すること。
- 二 図書館資料の分類排列を適切にし、及びその目録を整備すること。
- 三 読書会、研究会、鑑賞会、映写会、資料展示会等を行うこと。
- 四 図書館資料の利用その他学校図書館の利用に関し、児童又は生徒に対し指導を行うこと。
- 五 他の学校の学校図書館、図書館、博物館、公民館等と緊密に連絡し、及び協力すること。

2 学校図書館は、その目的を達成するのに支障のない限度において、一般公衆に利用させることができる。

(司書教諭)

第五条 学校には、学校図書館の専門的職務を掌らせるため、司書教諭を置かなければならない。

- 2 前項の司書教諭は、主幹教諭（養護又は栄養の指導及び管理をつかさどる主幹教諭を除く。）、指導教諭又は教諭（以下この項において「主幹教諭等」という。）をもって充てる。この場合において、当該主幹教諭等は、司書教諭の講習を修了した者でなければならない。
- 3 前項に規定する司書教諭の講習は、大学その他の教育機関が文部科学大臣の委嘱を受けて行う。
- 4 前項に規定するものを除くほか、司書教諭の講習に関し、履修すべき科目及び単位その他必要な事項は、文部科学省令で定める。

（学校司書）

第六条 学校には、前条第一項の司書教諭のほか、学校図書館の運営の改善及び向上を図り、児童又は生徒及び教員による学校図書館の利用の一層の促進に資するため、専ら学校図書館の職務に従事する職員（次項において「学校司書」という。）を置くよう努めなければならない。

- 2 国及び地方公共団体は、学校司書の資質の向上を図るため、研修の実施その他の必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

（設置者の任務）

第七条 学校の設置者は、この法律の目的が十分に達成されるようその設置する学校の学校図書館を整備し、及び充実を図ることに努めなければならない。

（国の任務）

第八条 国は、第六条第二項に規定するもののほか、学校図書館を整備し、及びその充実を図るため、次の各号に掲げる事項の実施に努めなければならない。

- 一 学校図書館の整備及び充実並びに司書教諭の養成に関する総合的計画を樹立すること。
- 二 学校図書館の設置及び運営に関し、専門的、技術的な指導及び勧告を与えること。
- 三 前二号に掲げるもののほか、学校図書館の整備及び充実のため必要と認められる措置を講ずること。

調査実施期間:平成29年10月～12月
 調査対象者:高萩市内の小学校3・6年生、中学校2年生
 調査回答率:97.1%

図書館アンケート(児童・生徒)集計表

1 あなたは本を読むことが好きですか

	回答数	構成比
(1) 好き	315	47.7%
(2) どちらかといえば好き	224	33.9%
(3) どちらかといえば嫌い	95	14.4%
(4) 嫌い	19	2.9%
無回答	8	1.2%
計	661	100.0%

2 きらいな理由は何ですか

	回答数	構成比
(1) つまらない	24	21.1%
(2) 他の遊びの方がおもしろい	38	33.3%
(3) 読むのが苦手	50	43.9%
(4) その他	1	0.9%
無回答	1	0.9%
計	114	100.0%

3 あなたは本を読んでもらうことが好きでしたか

	回答数	構成比
(1) 好き	213	32.2%
(2) どちらかといえば好き	214	32.4%
(3) どちらかといえば嫌い	95	14.4%
(4) 嫌い	72	10.9%
(5) 読んでもらったことがない	59	8.9%
無回答	8	1.2%
計	661	100.0%

4 きらいな理由は何ですか

	回答数	構成比
(1) つまらない	72	43.1%
(2) 他の遊びの方がおもしろい	44	26.3%
(3) その他	48	28.7%
無回答	3	1.8%
計	167	100.0%

5 あなたはどんな本が好きですか

	回答数	構成比
(1) 小説や物語	298	45.1%
(2) 伝記や歴史	32	4.8%
(3) 社会や生活の本	12	1.8%
(4) 科学の本	22	3.3%
(5) スポーツや趣味の本	57	8.6%
(6) マンガ	194	29.3%
(7) 新聞	10	1.5%
(8) その他	26	3.9%
無回答	10	1.5%
計	661	100.0%

6 あなたは読みたい本をどのようにして手に入れますか

	回答数	構成比
(1) 本屋などで買う	408	61.7%
(2) 学校図書館で借りる	116	17.5%
(3) 市立図書館で借りる	99	15.0%
(4) 友達から借りる	22	3.3%
無回答	16	2.4%
計	661	100.0%

7 あなたは一か月に何冊ぐらい本を読みますか(平均)

	回答数	構成比
(1) 読まない	56	8.5%
(2) 1冊未満	6	0.9%
(3) 1冊	76	11.5%
(4) 2冊	67	10.1%
(5) 3冊	64	9.7%
(6) 4冊	25	3.8%
(7) 5冊	83	12.6%
(8) 6冊	18	2.7%
(9) 7冊	7	1.1%
(10) 8冊	4	0.6%
(11) 9冊	5	0.8%
(12) 10冊以上	149	22.5%
(13) 20冊以上	84	12.7%
無回答	17	2.6%
計	661	100.0%

8 あなたは一か月に何冊ぐらい本を読みますか(最大)

	回答数	構成比
(1) 1冊	25	3.8%
(2) 2冊	30	4.5%
(3) 3冊	45	6.8%
(4) 4冊	24	3.6%
(5) 5冊	60	9.1%
(6) 6冊	20	3.0%
(7) 7冊	17	2.6%
(8) 8冊	12	1.8%
(9) 9冊	2	0.3%
(10) 10冊以上	146	22.1%
(11) 20冊以上	86	13.0%
(12) 30冊以上	109	16.5%
無回答	85	12.9%
計	661	100.0%

9 本を読まないのはなぜですか

	回答数	構成比
(1) つまらない	20	3.0%
(2) 他の遊びの方がおもしろい	27	4.1%
(3) 時間がない	16	2.4%
(4) 本を読む場所がない	4	0.6%
(5) その他	5	0.8%
無回答	589	89.1%
計	661	100.0%

10 あなたは一週間にどのぐらいの時間本を読みますか(平均)

	回答数	構成比
(1) 読まない	77	11.6%
(2) 30分未満	48	7.3%
(3) 30分～1時間未満	226	34.2%
(4) 1～2時間未満	150	22.7%
(5) 2～3時間未満	55	8.3%
(6) 3～4時間未満	15	2.3%
(7) 4～5時間未満	21	3.2%
(8) 5～6時間未満	4	0.6%
(9) 6～7時間未満	9	1.4%
(10) 7～8時間未満	3	0.5%
(11) 8～9時間未満	1	0.2%
(12) 9～10時間未満	6	0.9%
(13) 10時間以上	18	2.7%
無回答	28	4.2%
計	661	100.0%

11 あなたは一週間にどのぐらいの時間本を読みますか(最大)

	回答数	構成比
(1) 30分未満	9	1.4%
(2) 30分～1時間未満	80	12.1%
(3) 1～2時間未満	185	28.0%
(4) 2～3時間未満	104	15.7%
(5) 3～4時間未満	41	6.2%
(6) 4～5時間未満	35	5.3%
(7) 5～6時間未満	26	3.9%
(8) 6～7時間未満	10	1.5%
(9) 7～8時間未満	4	0.6%
(10) 8～9時間未満	3	0.5%
(11) 9～10時間未満	14	2.1%
(12) 10時間以上	39	5.9%
無回答	111	16.8%
計	661	100.0%

12 あなたはどこで本を読むことが多いですか

	回答数	構成比
(1) 自分の部屋	307	46.4%
(2) 家族のいる部屋	175	26.5%
(3) 学校図書館	74	11.2%
(4) 市立図書館	18	2.7%
(5) その他	75	11.3%
無回答	12	1.8%
計	661	100.0%

13 あなたは読む本をどのように決めていますか

	回答数	構成比
(1) 本屋で自分で決める	345	52.2%
(2) 学校図書館の棚を見て自分で決める	106	16.0%
(3) 市立図書館の棚を見て自分で決める	94	14.2%
(4) 親にすすめてもらう	13	2.0%
(5) 友達から聞く	25	3.8%
(6) テレビで見た本にする	19	2.9%
(7) その他	46	7.0%
無回答	13	2.0%
計	661	100.0%

14 あなたは本を読むことが大切だと思いますか

	回答数	構成比
(1) 大切だと思う	391	59.2%
(2) どちらかといえば大切だと思う	209	31.6%
(3) どちらかといえば大切だとは思わない	28	4.2%
(4) 大切だとは思わない	24	3.6%
無回答	9	1.4%
計	661	100.0%

15 大切だと思ったあなたは、どんなときに本を読んでいてよかったですか

	回答数	構成比
(1) おもしろい	223	37.2%
(2) 知らないことがわかる	174	29.0%
(3) 考える力がつく	84	14.0%
(4) 文字や言葉について詳しくなる	94	15.7%
(5) その他	20	3.3%
無回答	5	0.8%
計	600	100.0%

16 大切だと思わないあなたは、なぜですか

	回答数	構成比
(1) 何の役にも立たないと思うから	19	36.5%
(2) 他にやることがあるから	22	42.3%
(3) その他	7	13.5%
無回答	4	7.7%
計	52	100.0%

17 あなたはどうすればみんながもっと本を読むようになると思いますか

	回答数	構成比
(1) 学校で読書の時間を増やす	323	48.9%
(2) テレビやゲームの時間を少なくする	120	18.2%
(3) 読むかどうかは自分で決めればよい	181	27.4%
(4) その他	25	3.8%
無回答	12	1.8%
計	661	100.0%

18 あなたのまわりに本をよく読んでいる人はいますか

	回答数	構成比
(1) 両親	100	15.1%
(2) 兄弟姉妹	147	22.2%
(3) 祖父母	55	8.3%
(4) 友達	268	40.5%
(5) その他	75	11.3%
無回答	16	2.4%
計	661	100.0%

19 あなたの学級に「読書タイム」はありますか

	回答数	構成比
(1) ある	615	93.0%
(2) ない	34	5.1%
無回答	12	1.8%
計	661	100.0%

20 読書タイムがあることでどんなことが変わりましたか

	回答数	構成比
(1) 前よりもよく読むようになった	184	29.9%
(2) 本が好きになった	119	19.3%
(3) 学校図書館や市立図書館へよく行くよ	31	5.0%
(4) 特に変わりはない	253	41.1%
(5) その他	17	2.8%
無回答	11	1.8%
計	615	100.0%

21 あなたはこの2週間の間に学校図書館へ行ったことがありますか

	回答数	構成比
(1) ある	392	59.3%
(2) ない	259	39.2%
無回答	10	1.5%
計	661	100.0%

22 学校図書館へ行った方は、何のためですか

	回答数	構成比
(1) 調べ学習などの授業本を読むため	87	22.2%
(2) 本を借りるため	225	57.4%
(3) その他	76	19.4%
無回答	4	1.0%
計	392	100.0%

23 学校図書館へ行かなかった方は、理由は何ですか

	回答数	構成比
(1) 読みたい本がない	79	30.5%
(2) 本を読むのが好きではない	38	14.7%
(3) 遠い	33	12.7%
(4) 開いていないことが多い	2	0.8%
(5) 新しい本が少ない	12	4.6%
(6) 本の選び方がわからない	3	1.2%
(7) その他	88	34.0%
無回答	4	1.5%
計	259	100.0%

24 あなたは学級文庫の本を読みますか

	回答数	構成比
(1) 読む	382	57.8%
(2) 読まない	224	33.9%
(3) 学級文庫はない	41	6.2%
無回答	14	2.1%
計	661	100.0%

25 学級文庫の本を読んだ方は、どんな時が多いですか

	回答数	構成比
(1) 読書タイム	290	75.9%
(2) 休み時間	42	11.0%
(3) 放課後	12	3.1%
(4) 家に帰ってから	22	5.8%
(5) その他	15	3.9%
無回答	1	0.3%
計	382	100.0%

26 あなたはこの2年の間に市立図書館へ行ったことがありますか

	回答数	構成比
(1) ある	491	74.3%
(2) ない	158	23.9%
無回答	12	1.8%
計	661	100.0%

27 市立図書館へ行かなかった方は、その理由は何ですか

	回答数	構成比
(1) 本に興味がない	21	13.3%
(2) 市立図書館が遠い	13	8.2%
(3) 本屋などで買うことが多い	42	26.6%
(4) 時間がない	52	32.9%
(5) 家や学校に読みたい本がある	6	3.8%
(6) その他	21	13.3%
無回答	3	1.9%
計	158	100.0%

28 市立図書館へ行った方は、どのくらい行きますか

	回答数	構成比
(1) ほとんど毎日	12	2.4%
(2) 週3回くらい	27	5.5%
(3) 週1回くらい	48	9.8%
(4) 2週間に1回くらい	56	11.4%
(5) 1か月に1回くらい	108	22.0%
(6) 年に3回くらい	169	34.4%
(7) その他	66	13.4%
無回答	5	1.0%
計	491	100.0%

29 市立図書館へ行った方は、誰と行くことが多いですか

	回答数	構成比
(1) 自分だけ	57	11.6%
(2) 家族	291	59.3%
(3) 友達	81	16.5%
(4) その他	17	3.5%
無回答	45	9.2%
計	491	100.0%

30 市立図書館へ行った方は、何のためですか

	回答数	構成比
(1) 本を借りるため	251	51.1%
(2) 本を読むため	94	19.1%
(3) 調べ物をするため	43	8.8%
(4) DVDを借りるため	2	0.4%
(5) インターネット利用のため	13	2.6%
(6) お話し会などのイベントに参加するため	1	0.2%
(7) その他	40	8.1%
無回答	47	9.6%
計	491	100.0%

31 市立図書館にこうしてほしいと思うことは何ですか

	回答数	構成比
(1) 開館日を増やしてほしい	66	10.0%
(2) 開館時間を長くしてほしい	57	8.6%
(3) 本を増やしてほしい	235	35.6%
(4) 貸出期間を長くしてほしい	97	14.7%
(5) 本を読む席を増やしてほしい	56	8.5%
(6) その他	113	17.1%
無回答	37	5.6%
計	661	100.0%

32 あなたの性別を教えてください

	回答数	構成比
(1) 男	338	51.1%
(2) 女	308	46.6%
無回答	15	2.3%
計	661	100.0%

33 学年

	回答数	構成比
(1) 小学3年生	223	33.7%
(2) 小学6年生	233	35.2%
(3) 中学2年生	203	30.7%
無回答	2	0.3%
計	661	100.0%

図書館アンケート(保護者)集計表

調査実施期間:平成29年10月～12月
 調査対象者:高萩市内の保育園、幼稚園の2歳児5歳児、
 小学校3・6年生、中学校2年生の保護者
 調査回答率:78.5%

1 あなたのお子さんは読書が好きですか

	回答数	構成比
(1) 好き	307	36.3%
(2) どちらかといえば好き	359	42.4%
(3) どちらかといえば嫌い	143	16.9%
(4) 嫌い	24	2.8%
無回答	13	1.5%
計	846	100.0%

2 あなたのお子さんはどのくらい本を読んでいますか

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	219	25.9%
(2) 週に3回くらい	194	22.9%
(3) 週に1回くらい	177	20.9%
(4) 月に1～2回	114	13.5%
(5) 年に数回	59	7.0%
(6) ほとんど読んでいない	64	7.6%
無回答	19	2.2%
計	846	100.0%

3 ご家庭ではどなたがお子さんに本を読んであげていますか

	回答数	構成比
(1) 母	628	74.2%
(2) 父	28	3.3%
(3) 祖母	37	4.4%
(4) 祖父	7	0.8%
(5) 兄、姉	20	2.4%
(6) おじ、おば	2	0.2%
(7) その他	99	11.7%
無回答	25	3.0%
計	846	100.0%

4 あなたのお子さんはどのくらい本を読んでもらっていますか

	回答数	構成比
(1) ほぼ毎日	113	13.4%
(2) 週に3回くらい	136	16.1%
(3) 週に1回くらい	184	21.8%
(4) 月に1～2回	137	16.2%
(5) 年に数回	90	10.7%
(6) ほとんど読んでもらっていない	167	19.8%
無回答	18	2.1%
計	845	100.0%

5 あなたのお子さんは本をどのようにして入手していますか

	回答数	構成比
(1) 市立図書館や学校図書館で借りる	309	36.5%
(2) 書店(本屋)で買う	344	40.7%
(3) インターネットで買う	23	2.7%
(4) ほとんど借りないし買わない	67	7.9%
(5) その他	92	10.9%
無回答	11	1.3%
計	846	100.0%

6 あなたご自身は読書がお好きですか

	回答数	構成比
(1) 好き	207	24.5%
(2) どちらかといえば好き	373	44.1%
(3) どちらかといえば嫌い	209	24.7%
(4) 嫌い	46	5.4%
無回答	11	1.3%
計	846	100.0%

7 (問7で③または④と答えた方)その理由は何ですか

	回答数	構成比
(1) つまらない	20	7.8%
(2) 他に楽しいことがあるから	59	23.1%
(3) 文章を読むのが苦手	119	46.7%
(4) その他	54	21.2%
無回答	3	1.2%
計	255	100.0%

8 あなたは本をどのようにして入手されますか

	回答数	構成比
(1) 市立図書館や学校図書館で借りる	168	19.9%
(2) 書店(本屋)で買う	433	51.2%
(3) インターネットで買う	61	7.2%
(4) ほとんど借りないし買わない	140	16.5%
(5) その他	28	3.3%
無回答	16	1.9%
計	846	100.0%

9 あなたは市立図書館をどのくらい利用されますか

	回答数	構成比
(1) 週に3回以上	3	0.4%
(2) 週に1回くらい	37	4.4%
(3) 月に1～2回	190	22.5%
(4) 年に数回	274	32.4%
(5) ほとんど利用していない	331	39.1%
無回答	11	1.3%
計	846	100.0%

10 あなたは本を読むことが大切だと思いますか

	回答数	構成比
(1) 思う	579	68.5%
(2) どちらかといえば思う	240	28.4%
(3) どちらかといえば思わない	9	1.1%
(4) 思わない	4	0.5%
無回答	13	1.5%
計	845	100.0%

11 あなたはどうすれば子どもたちがもっと本を読むようになると思っていますか

	回答数	構成比
(1) 大人が読んであげる	308	36.4%
(2) テレビやゲームの時間を減らす	219	25.9%
(3) 本を読む、読まないは本人に任せ方が良い	192	22.7%
(4) その他	114	13.5%
無回答	13	1.5%
計	846	100.0%

12 あなたは子どものころ本を読んでもらったことがありますか

	回答数	構成比
(1) よく読んでもらった	132	15.6%
(2) 読んでもらったことがある	361	42.7%
(3) 読んでもらったことはない	121	14.3%
(4) 覚えていない	218	25.8%
無回答	13	1.5%
計	845	100.0%

13 あなたとお子さんとの関係を教えてください

	回答数	構成比
(1) 父	29	3.4%
(2) 母	778	92.0%
(3) 祖父	3	0.4%
(4) 祖母	10	1.2%
(5) おじ	0	0.0%
(6) おば	0	0.0%
(7) その他(男性)	1	0.1%
(8) その他(女性)	10	1.2%
無回答	15	1.8%
計	846	100.0%

14 子どもの読書活動を推進するにあたってのご意見・ご要望をお書きください

- ◆図書館で行われている読み聞かせによく参加させてもらっていました。しかし、仕事が始まり、なかなか行くことが難しくなっていました。もっとそのような場が他の曜日や時間など増えてくれると参加しやすいと思います。
- ◆大人が子へ読んであげる機会を増やす、そういった行事を園や小学校で設ける。
- ◆学校や家で読書の時間を増やすといいと思う。
- ◆絵本がありすぎて、困ってしまう。おすすめなどの情報を教えてほしい。読み聞かせの大切さや絵本の読み聞かせの会などのイベント等があれば参加してみたい。
- ◆保育園で月に一冊絵本を配布して読み聞かせることにより絵本が大好きになっています。1歳の時に読んでいた絵本を3歳になってからしっかり内容を理解するなど、成長も感じられます。大きくなってくとTVやゲームに夢中になり絵本から離れがちになるので、小学校でも読書の時間を取り入れてもらいたいです。
- ◆保育園・幼稚園・学校で読書の時間をつくる。共働きの親が増えてきている今、家では忙しくなかなか本を読んで時間もないので。小学生・中学生は、ゲームに夢中になる時期なので、やはり学校で読書の時間割があるといいなと思います。20年前、小学校では図書の時間がありました、今もあるのでしょうか。
- ◆病院などにもっと本があるとよいと思う。待っている間に子供が読めるし、読んであげられるから。
- ◆図書館をもっと開放的にした方がよい。本を読むための時間・空間は、今の時代、図書館しかないと思う。図書館から保育園・小学校に出向くとか。
- ◆子どもは、読書(絵本)にとっても興味があるので、定期的に読み聞かせのイベント等を行ってほしいです。(イベントをしても知らなかったというときもあるので、周知してほしいです。)
- ◆図書館でのイベント等をもっとやってほしい。親子で楽しめるイベントで足を運び、本と触れ合う機会が増えれば、今より本が好きになるのかなと感じる。
- ◆病院の待合室などにも、もっとたくさん本があればよいと思う。保育園・幼稚園にも図書室があればよいと思う。高萩市の図書館は、なんとなく薄暗くて入りにくい感じがして、行く気にならない。
- ◆小さなころから本を読むとき、声に出して読むことで大人になってから子どもに読み聞かせができるのではないのでしょうか？最近の人は、人の前で話をするのが苦手な気がします。一人で行くときでも音読をすることで、発声練習にもなり、良いことだと思うので、日々たくさん本を読んでほしいです。
- ◆保育園で毎日読んでいる本の内容を覚えて、お家で話してくれます。自分の興味のあるものは特に。好きなものに絡めて、本人の関心がある本を借りようと思います。こんな本があるよ！というメールとか来るともっと行く機会が増えるかもしれません。
- ◆子どもが小さいうちから本を読む習慣がある生活を送ること。小学校や図書館の本の充実。
- ◆読む本が、検索するときにジャンル(冒険ものetc)でさがせたりできるともっと借りやすい気がします。
- ◆小さな子供でも気軽に利用できる図書館をつくってほしい。
- ◆小学生の娘が、よく図書館に本を借りに行くのですが、「タイトルを見てもどんなのかわからないから借りなかった。」という日が多いので、おすすめの本の内容(ストーリー?)などをもっと知る機会があれば、もっと読みたい本が増えるのでは…。と思います。
- ◆読み聞かせなど、イベントなど作って、読書が楽しいと思えるような、きっかけを作ってほしい。家だとテレビやゲームなど夢中になってしまったり、本を読む時間がなかなか作れないので…。
- ◆どんな本であれ、活字を読んで頭の中でストーリーを組み立てることは、良いことだと思う。課題図書など、難しい本に限定せずに、流行の本や読みやすい本を指定して、まずは、本の面白さを知ってもらうことが重要だと思う。そうすれば慣れによって次第に難しい本も読めると思う。
- ◆いつも利用させていただいて、感謝しております。
- ◆市立図書館で子供が興味を示した生きものや宇宙などの図鑑が貸出し禁止になっていて残念だったのを思い出す。子どもの可能性や将来性を阻めた気がした。
- ◆本をもっと身近なものと感じられるようなきっかけ(イベント)があるとよい。図書館のイベントなど、調べないとわからないのでその手間がかけれない。
- ◆保育園で毎日絵本を読む活動があるので、絵本を読む習慣が身につけている。家でも寝る前に読んだり、夕食までの愛でに読んだりといえ、ほんの目にする時間が多いので、今後小・中学生へと成長しても本を読む習慣が継続してくれたいいな…。と思います。
- ◆図書館を利用したいと思うが、高萩図書館は、本の種類が少なすぎると思う。幼児を連れて行っても騒いだとすると周りが気になり本を探したり読んだりすることができない。せめて子供たちが読める本だけでも別な場所のあればいいのと思う。(別な場所…仕切られて部屋とか。?)
- ◆図書館をもっと利用させたいのですが、イベント等の告知をわかるように告知してほしい。おすすめの本など教えてもらえると読ませる読み聞かせるきっかけになるのでは？
- ◆最近、仕掛け絵本や大人向けの絵本が数多く出版され、字を読む、書くことが減った年代でもそういった本に触れる機会が増えると興味もわくと思います。本に触れる機会は個人差があり、本人が気にとめなければ紙の本を手にするのが減っている傾向にあるように感じます。親がやっていることに興味を持つ子どもは多く(携帯・ゲーム等)継続した読書習慣は、年代問わず生活にどれくらいの関わりが持てるか、ただ本があるだけでは意味がないと思っています。
- ◆私が本を読んでいる姿を見ると、「僕も読もう！」とよく言います。寝る前や休日等に多いです。読みなさい！より、読んだら？とか、読んでいる姿を見せることだと思います。カフェ等でもお茶しながらようようと思っている時は、子どもにも本を持っていこう！っといいます。旅行に行く時も、おもちゃひとつと本1冊とかです。常日頃なんだと思います。
- ◆もっと子供がおもしろいと思う内容を扱ってほしい。興味を持てる図書館であってほしいです。
- ◆移動図書館を行ってみたらどうでしょうか？日上市等では、幼稚園、保育園にも来てくれるそうです。高萩市は、面積が広いのに図書館は少なく暗い…。
- ◆以前テレビで見たのですが、図書館に銀行と同じように通帳をつくり、読んだり借りた本が、印字されるようになっていました。前より子どもたちが借りる本を読むようになったそうです。
- ◆寝る前に読む習慣をつける。図書館の新刊が入るペースを早くする。
- ◆私の場合、保育園でクラスごとに購入した本を自宅でも読んでいます。クラスで読んでいたので、親しみがよりまして楽しんでます。個人で書店へ行くと、どの本が自分の子どもの年齢にあっているのかわからず、なかなか購入は難しいですが、園で用意してくれるものは、安心して読み聞かせができ、下の子どもたちにも大きくなったときに読んであげられたりするの、とても良い方法だと思っています。
- ◆図書館がもっと行きやすい環境だとい。図書館の本が子どもの好きそうな本が手に取りやすいといい。保育園や学校での読み聞かせが楽しいとetc、子どもにとって本が身近なものに感じることができたらいい。まわりの大人・親もTVやスマホ・PCばかりでなく、子どもの前でもっと本を読んでいるといいと思う。
- ◆毎日、本を読ませることの大切さは、十分にわかっているが、なかなか時間がなく、あたりまえの生活をしている中で本を読むという時間をつくるのが難しい。

- ◆保育園で日中読み聞かせをした絵本を紹介してもらえるとお家でも同じ絵本を読んであげられたら喜ぶだろうなあと思います。でも、働いていると土・日はやることが多く、図書館に行ってその本を探す時間もなかったりするので、保育園で借りられる本が何冊かあったらいいなと思います。
- ◆市立図書館の本の並びが探しづらいです。作者別では、子どもが選びづらいです。
- ◆中学校で実施している朝読書は読書をする習慣がついていいと思う。小学校でも取り入れてもらいたい。
- ◆子どもは、大人が本を読むことがどれだけ楽しいかを教えてあげれば、自分からも積極的に読むようになるので、そういう機会をたくさん与えることが大事だと思う。
- ◆月に一度は、本を預けて親に読んでもらうとよい。
- ◆図書館は、静かにしてはいけないので、小さな子供を連れては、借りに行きにくい。月に何度か子どもDAYがあれば行くかも？(騒がしくても良い日)
- ◆この子の姉・兄はとても本が好きです。本を読み始めてすぐ学力が伸びました。本をもっと身近によめるよう、学校の図書室の工夫や図書館の工夫をしていけるといいかと思えます。
- ◆テレビゲームオフデーの時に、幼稚園で本を借りる機会をつくってくれば、読むことが増えるかも。
- ◆幼稚園などでの読み聞かせ。家庭内での親子時間として一緒に読んだり見たりする。図書館等で子供に好きな本を選んでもらう。
- ◆大人が読書している姿(新聞を読むなども含む)を子どもに見せることも大切では。(読書を楽しんでいる姿を見せる)目に入る場所に読んでほしい本などを置き、手に取りやすい環境づくりを親がやることもよいのでは。
- ◆寝る前に本を読み聞かせる。テレビを見る時間を読書に置き換える。
- ◆図書館をよく利用させてもらっています。もう子供たちは、幼稚園生なのですが、もっと小さいころ、授乳室やおむつ替えの場所があったらいいなと思いました。いまからでもできればもっと利用者が増えるかもしれませんね。
- ◆幼稚園で希望者に毎月本が届けられるシステムがあるとうれしい。おすすめの本・チラシなどがあるとよいな。
- ◆我が家では、子どもが寝るときに絵本を2冊読み聞かせるというのが、気づいたら習慣になっていました。いつも図書館で絵本を借りているのですが、入ってすぐのところに季節に合ったおすすめの本が置いてあって、絵本を選ぶ助けになっています。
- ◆ノーテレビ、ノーゲームを設定したように、読書デーをつくってみたり、一か月に何冊どんな本を読んだかを入力できるようなカードをつくってみる。
- ◆本を読んであげたい！と思いつつも夕方から夜になると忙しく過ぎてしまい、読まずに来てしまいました。幼稚園などで紙芝居や絵本の時間があるようでとても感謝しています。図書館まつりでは、たくさん本を頂き、子どもと私自身が読むきっかけを作ってもらいました。来年もまたこのようなイベントが、あるとうれしく思います。
- ◆本から得られることは、たくさんあると思います。母である私が教えられないこと、世の中を生きていくために大切なことも本から教えられることが、とても大きいと感じます。我が家では、夕方と寝る前に必ず子どもたちに本を読み聞かせます。それ以外でも、字が読めなくても自分で本を手にして読んでいる姿をよく見ます。言葉では伝えきれない”何か”が、心に育ってくれるといいなと思います。
- ◆家庭で本を読む機会を増やすために読書カードなどを利用して、月に何冊読みましよう宿題のような形で行わせるのもいいのかなと思います。
- ◆ひらがなを覚えてから、本がより好きになったように思います。朝の10分でもいいので、本を読む習慣を小さい時からつけてもらいたい。
- ◆寝る前のお布団での読み聞かせは大切だと思う。幼稚園から借りてきた読本は、本人が積極的に読もうとしている。
- ◆今度から図書室ができるので、週1ぐらいから自由に本読みできればいいと思います。
- ◆他の人に薦められると、読んでみようという気持ちになると思います。家族や友達同士で同じ本を読んで、その感想を話し合えるような機会があると楽しく読書ができるのではないのでしょうか。
- ◆仕事をしているとなかなか子供との時間が持てず、かわいそうだなと思っています。家で、読んであげるのが一番だと思いますが、学校の朝の読書の時間をつくってもらっているの、何の本を読んだのか、など、会話のきっかけにして、もっと読んで、母に教えてあげよう！と思ってもらえるように声をかけていきたいと思っています。
- ◆本を読まない子は、語彙力が足りなくなってしまうし、作文もうまく書けない。小さいころに正しい読み聞かせをたっぷりしてあげて、日本語のインプットを増やすことで、正しい日本語をかけたり、読みとったりできるようになると思う。大きくなってからでは難しい。本を読むことは、楽しいことだと子どもが思えるような関わり方をしてあげたい。今になって、もっと読んであげればよかったと思うが、子育てに一生懸命で、いっぱいいっぱい時期には、なかなか気づけないし、本を好きじゃないママに読み聞かせを進めても多分うまくできない。だから、幼稚園、保育園、小学校の先生方に、読み聞かせをしてもらえるといいと思う。そして、少し大きくなったら、自分より小さい子に読んであげる機会があると音読の練習にもなるし、本の内容が理解できるようになるのではないかと思う。日本語をしっかり習得すると英語力も付きやすいらしい。本を読むことは、習慣のない子(大人も同じだが)には、きつと苦痛。子どものころから読む力をつけてあげたい。
- ◆家に、余った本やもう読まなくなった本があると思います。おもしろかったなどコメントを書いて小学校に寄付か子どもたちがもらっているようなことが、あっていいのでは？
- ◆私の場合、子どもが小さい時から毎日、読み聞かせをしていましたが、子どもが本が好きになったので、小さい時の読み聞かせは大事なのかな？！と思いました。私自身、読み聞かせをしているのが楽しかったので、親が楽しんで読むことも大切なのかもしれませんね。
- ◆わが子が、本が好きです。図書館もよく利用していますが、なかなか本人の借りたい本に出会えません。そのため、自分のお小遣や祖父母に本屋さんと購入してもらいます。年齢とともに好きな本のジャンルに偏りがありますが、見守る形をとっています。低年齢のうちは、保護者の読み聞かせの時間を大切にしたり、図書館の存在を親子で知ることが大切かなと思います。小学校中・高学年になると子どもたちの好みの本も個々によって、大分異なりますので、アンカーと等を取るなどして、〇〇フェアを特集してみるのも足を運ぶ機会になるかもしれません。まずは、読む楽しさを感じられるきっかけが必要かなと思います。
- ◆学校の図書館に本が少ないと思う。市の図書館もイメージが暗い。身近なところから、たくさん本にふれる場所があるとよいのでは？学校で、たまにある読み聞かせ会は、楽しめているみたいです。
- ◆子どもが本を読むことは、とても大切なことだと思う。子どもが興味を持った本は、すぐに読めるように準備してあげることが大切だと考えている。本屋に無いことが多いのでインターネットを利用することが多い。北茨城図書館のようだと図書館に行ってみようという気持ちになれる。
- ◆図書館(小学校の中も含む)で本を読む時間は、よく昆虫の本を見ています。字は、少ないですが、子どもの本は見ているだけで楽しらしく集中しています。読書感想文もそれでいいのか？と思っています。
- ◆最初のきっかけは、やはり読み聞かせに限ると思います。絵から引き込んでよいですし、本が楽しいものだとわかれば本から離れないと思います。簡単なあらすじを紹介して読んでみたくなるのもよいです。
- ◆小学校の男の子の母親です。身体を丈夫にしてあげたくて、スイミングスクールに通わせています。そして、毎日宿題があり、読書の時間はありません。作れません。読解力が未熟で、サクサク読み進められず、面白味が無いようです。一冊でも読み終えて、達成感があれば、次につながるのではないかとも思います。おすすめな本を紹介していただける機会があればいいと思います。
- ◆問11に書いてしまいましたが(読んであげるとよいと思いますが、図書館等で選んできた本をよく目に付くところにおくと手に取りやすい。)学校で借りてきた本さえ、全部読めずに返していましたが、最近、図書館で本を借り、その本たちをテレビ横にタナを置いて、並べたところ、毎日手に取って、読むようになりました。3人の子供がいますが、だれか一人が、読み始めると、他の子たちもつられて、読みだすので、読んであげることと合わせて、本の置き場所も考えるとよいのかなと思いました。

- ◆本を読むばかりでなく、読んだ本の感想をまとめさせることによって、読書の質を上げるよう仕向けてほしい。
- ◆図書館の休日を見直してほしい。休日(連休)が多すぎる。(中学生が部活の休日が月曜なので…)また、時間の延長をしてほしい。私自身も常勤での仕事なので、17:00以降の退社時に立ち寄れるようになればうれしいです。文庫本も日本文学類が少ないので、増やしていただきたいです。
- ◆本を読むと大人になったとき(成長したとき)理解力が身に付きます。
- ◆長い文章だと、どうしても読むことを避けてしまうので、「ミック」などでさがしたりクイズ形式のものを過程では取り入れています。親子でコミュニケーションもとれるので、30分ぐらいあつという間に過ぎて楽しんでます。買うと高いので、図書館において頂けると助かるなあと思います。
- ◆他の施設に比べ図書館の施設の充実さが足りないと思います。
- ◆学校の図書室を放課後も開放し、下校時間まで自由に利用させ、続きの場合は、借りて帰宅後も読む習慣がつかうかもしれません。
- ◆図書館よりの新刊入荷情報などを学校を通じてお知らせなど、あるといいかなと思います。
- ◆楽しい本をたくさん教えていただけると、より本が好きになりそうです。…と娘が話しておりました。
- ◆子どもにもっとたくさんの本を読んでもらいたい。本でいろんなことを知ってもらいたいです。
- ◆本は好きだが、図書館の静かな感じやにおいがにがてです。小さな子供のためのイベントもあるのは、知っているがなかなか連れていけない。
- ◆子どもにも本を好きになってほしいと考えています。本に興味を持つ機会が増えるとうれしいです。
- ◆昔、自分で書いたお話を自分の手で製本し、絵本にしたことがあります。それがきっかけで、本を手取る回数が増えた記憶があります。そのようなワークショップがあっても面白いと思いました。
- ◆図書館は、静かにしていなくてはいけなくて、小さな子供を連れて借りに行きにくい。月に何度か子どもDAYがあれば行くかも？(騒がしくしてもよい日)
- ◆よく図書館を利用するのですが、読んでしまった本・シリーズが多くなってくると利用回数が減ってしまうので、入替、もしくは新刊を多くしてほしい。
- ◆自分は本を読むのが好きです。活字中毒なほどです。すきでよむので、なぜ、本が嫌いなのがわかりませんが…かといって質の悪い文書を読ませたくないとも思います。
- ◆学校幼稚園・保育園での絵本の読み聞かせを開催する。
- ◆学校の朝読書などは、とても効果的でよいと思います。親子で同じ本を読んで、感想を言い合ったりすると、より楽しみが増すような気がします。
- ◆読書の大切さは、十分わかるのですが、読め、読めと強制的になってしまうと子ども嫌になってしまうので、自分で進んで読んでくれるとよいなと思ってます。病院や歯医者待ち時間に本を読んでいる姿を見ると”おつ”とうれしく思います。週に曜日を決めて、ネットではなく本を読む日をつくりたいなと思っています。
- ◆学年別学校別などで人気の本ランキングを発表すると、良い刺激になると思います。
- ◆本を読むと心が豊かになるということを教えて、本の楽しさを知ってもらおう活動する。
- ◆図書館にたくさんのジャンルの本がもっとあるとよいと思います。
- ◆読んであげたいと思いますが、共働きで時間が取れないです。学校で読書の時間が設けられていたりすると、家では読まないのですね助かります。
- ◆学校の図書室の貸出しを自由にして、読み終わったらどんどん他の本を借りられるようにして、「何冊読破」の記録を目指すようにする。クラス内などで子ども同士の本の貸し借りを自由にする。人に薦めたい本ができたり、おすすめされた本に興味を持って本がもっと好きになるの。宿題が「読書」という日がたまにあつたらゆつくり本が読めると思います。子どもの広告を紹介し、「面白そうだねと思ってもらって[読みたい！]という気持ちにさせる。行政から年に1回ぐらい本のプレゼントがあつたら子どももうれしいし、大人もうれしいです。
- ◆習い事で忙しいと読む時間がありません。このアンケートをきっかけに空いた時間に読んであげたいと思います。
- ◆子どもが楽しく読めるよう環境づくりが大切。
- ◆音読の宿題があるように10分20分でも読書の時間を宿題に加えてみる。
- ◆高萩の図書館は、暗くて静かすぎて行きづらい。
- ◆本を読むことは、想像力が豊かになったり、会話力・判断力などの助けになったりだと思います。私は小さい時から本が大好きで、大人になった今、忙しかつたりして時間は減りましたが、自分の世界があるので、すぐ集中したりできるのは本のおかげだと思っています。
- ◆家での読書の時間を増やす。
- ◆学校(小学校)図書をもっと自由に借りられるようになれば、気軽に読めるようになるのでしょうか。今は、決められた期間にしか借りられないようです。(年1・2回)
- ◆本のおすすめのポイントカードをつかって、楽しく読んでもらいたい。
- ◆簡単、難しい、本の種類、学年(あつたもの)関係なく、内容がおもしろい本などの(内容)紹介をもっとたくさんする。アピールするなど、するのよよいと思います。(興味をひく)
- ◆図書館で読書をするのが、家の子には合っていると思うのですが、高萩、十王、北茨城と近辺にある中で高萩は、一番古く、かび臭く、感じも悪い。子どもに貸借やらせたくても、あまりの感じの悪さにやらせたくなくなります。また、イベントカレンダーを見ても、特に目を引くものないし案内でもないし。北茨城は日当たりもよく、カフェあり、みんなニコニコ。見習ったらどうですか！って言いたくなります。同じ本を借りて読むなら、北茨城を選びます。でも、本当は、高萩の図書館でゆつくり本を読ませてあげたいと思うのが本音です。子どもが、本を選んで読む姿は、どんな子供でもかわいらしい。ですので、もっと子供が本を図書館という素敵な空間で読みたい！って思う空間づくりをしてほしい。
- ◆「読みましょう」と啓発するだけでは、現在の社会では、読まないと思います。ゲーム、スマホ、タブレット、TVなどの普及、さらにそれらで本を読むことができる世の中。本当の「紙」である本を読むことを勧めるには、それらの対策も必要不可欠と考えます。「本を読む」ことの利点も「よし読んでみよう」と思える。説得力のある内容、方法で行うことが必要かと思えます。
- ◆幼い頃から本を読み聞かせすることが肝要だと思います。
- ◆学校の評価(例えば通信簿に影響するとか…)が、もしあつたら、少しはがんばって本を読もうとするかもしれません…。
- ◆子どもにとってとても興味のある本を紹介してもらいたい。
- ◆子どもの読書の機会、学校、家庭、地域が一体となって、総合的な取り組みなどが大切だと思います。
- ◆学校の図書室に学生が読みたいと思う本を置く、紹介する。自主性でなくクラス全員で図書室利用の時間を設定し(月1回)本を手に取りやすい環境にすれば、自然と普及すると思います。
- ◆もっと子供が図書館を利用できるように市が工夫をすべきです。立地が悪い(駅に近くはない)のだから。もっと図書館は楽しいところと思ってもらえるように考えるべきです。(移動図書館とか)
- ◆あらゆるジャンルの本を図書館においてほしい。小説が少ないように思う。ハードカバーばかりでなくて、文庫もたくさん置いてほしい。
- ◆図書館の開館時間、休日の見直しを検討していただきたい。子どもの休日、「春、夏、冬休みなど」の間は、休館をなくしたり、時間の延長などが必要かと思えます。

- ◆親が読書をする習慣がないと子どもも読まなくなる。図書館がもっと利用しやすい、利用したくなるようなら、読書がもっと身近なものになるのでは。《カフェスペースがあったりとか。歩いて行ける距離にある。》
- ◆私の子どもは、昼間は外で遊んだり、習い事があったり、テレビやゲームなども観たりやったりしてなかなか自分で本を読むことが出来なかったようなので、夜寝るとき一緒に布団に入って本を一冊読んであげながら寝かせていました。(小学生まで。)今は、中学生になっていますので、読書の習慣が文章読解や言葉を覚えることなどにとても役立つと思います。図書館はとても親子ともども、お世話になりました。これからもたくさん本を借りて自分自身も読んでいこうと思っています。
- ◆子どもにも本を好きになってほしいと考えています。本に興味をもつ機会が増えたらうれしいです。
- ◆借りるとなると期限があるし、なくしたり、汚したりしてしまうのではないかと思います、なかなか借りようという気にならない。買うとなるとお金がかかるのであまり買えない。紙芝居などを子どもたちにやらせたら、読み聞かせが出来るのかなあ?と思います。
- ◆図書館に行くきっかけになるようなイベントを、どんどんやってほしいです。一度行って借りると返却があるので返却があるたび、新しい本を借りてくるのでその繰り返しがあればもっと本を読むと思います。イベントやきっかけがあればいいと思います。
- ◆TVや店頭だけでなく、学校でもっと本を紹介してくれると良いと思う。自分が子どものころは、夏休み前などに感想文用の本などが紹介されたり、時折手紙等を配布されていたが、興味を持つのは一部だけだったと思う。学校で配布するならば、先生からもどのようにお勧めなのか教えてほしいし、図書室にもおいてほしいと思う。
- ◆小さいころから本がある、読む、聞く環境があることは、大事だと思います。まずは大人が読む、読んであげられることが一番だと思います。(どんな本でもいいと思います。)

◆ 高萩市子ども読書活動推進計画策定経過概要

平成29年度	
10月	高萩市子ども読書活動推進計画アンケート実施

平成30年度	
12月	茨城大学との意見交換会
	高萩市子ども読書活動推進計画策定委員会設置要綱制定 第1回高萩市子ども読書活動推進計画策定委員会

令和元年度	
4月	第1回課内検討会議 茨城大学との意見交換会
5月	第2回高萩市子ども読書活動推進計画策定委員会 第2回課内検討会議
7月	第1回高萩市子ども読書活動推進計画策定委員会作業部会 第3回課内検討会議
8月	第3回高萩市子ども読書活動推進計画策定委員会 第2回高萩市図書館協議会で経過報告作業部会 第4回課内検討会議
9月	第5回課内検討会議
10月	パブリックコメント実施 高萩市図書館協議会経過報告
2月	高萩市子ども読書活動推進計画策定

高萩市子ども読書活動推進計画
令和2年2月発行

発行 高萩市教育委員会 図書館
〒318-0034
高萩市高萩8-1
電話：0293-23-7174
FAX：0293-22-4613